

# 学びの道しるべ

令和5年11月  
小松市立板津中学校

## 1. 全国学力・学習状況調査結果（本校と石川県・全国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	上回る	大きく上回る
数学	上回る	大きく上回る
英語	やや下回る	やや下回る

本校は、県および全国と比較すると国語と数学において「上回る」以上の傾向が見られました。特に国語と数学では全国との比較で「大きく上回る」好結果となっています。しかし、英語において「やや下回る」結果となりました。この結果を受けて、今後も基礎・基本の定着については、授業だけでなく家庭学習等で継続的に取り組ませます。同時に、主体的・対話的で深い学びの視点から教員の授業改善を推進していきます。

## 2. 設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

国語
◎「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」問題や「古典の原文と現代語の文章とを対応させて内容を捉える」問題で良好な結果であり、古典の基礎的な知識が身に付いている。また、「文章の要旨として適切なものを選択する」問題、「自分の考えが伝わるように根拠を挙げて書く」問題でも良好な結果であり、日頃の授業の中で、筆者の考えについて話し合う活動や、書き方のモデルを参考にして自分の考えを書くという活動に取り組んでいる成果だと思われる。 △「インタビューを通して自分がどのようなことを考えたのかを書く」問題に課題が見られた。聞き取ったことを基に、目的に沿って自分の考えをまとめる力が不足している。
<総括> ・漢字テストや文法の復習を通して、言語や文法等に関する基礎的な知識を今後も身につけさせる。 ・読みとったことや聞き取ったことを具体的な根拠として挙げて、自分の考えをもつことができるようにする。 ・書き方のモデルがなくても、自力で自分の考えをまとめる力を養うために、課題作文等に積極的に取り組ませる。
数学
◎基本的な計算はできており、基礎的な知識は定着している。 ◎資料の整理と活用において、累積度数や四分位範囲を求めることができている生徒が多い。 △文字を用いた式で、事柄が成り立つ理由を説明できている生徒が少ない。 △関数のグラフを読み取って分かることを説明することができている生徒が少ない。 △図形の性質を証明することができている生徒が少ない。 △説明する問題では、無答率がやや高い。
<総括> ・各単元で習得しなければいけない基本的な知識・技能については、課題とみられる問題等を継続的に取り組ませることで、確実に定着させていくとともに、毎回の授業でドリル学習を並行して行う。 ・学習課題の中に、数学的な表現を用いて説明することや根拠を明確にして筋道立てて理由を説明することを繰り返し取り上げていく。授業では、自分の考えを書き、伝え合う場面を設定する。レポート課題や定期テストで活用力を問われる問題を出題することで、説明する力をつけさせていく。
英語
<総括> ◎情報を正確に聞き取ることができている。 ◎目的に応じて英語を聞き、必要な情報を聞き取ることができている。 △疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を正確に書くことができていない。 △日常的な話題について、短い文の概要をとらえることができていない。
<総括> ・文を正しく書くためには言語材料の定着が必要なため、対話や文章の流れからふさわしい文の形式や時制を考えさせる学習活動を行う。また家庭学習で適用題に継続的に取り組ませ、基礎的・基本的な力の確実な定着を目指す。 ・簡単な語句で書かれた数文程度の英語を読み取るためには、既習の語や文法事項等の知識を活用して、文構造を適切にとらえたり、動詞等の内容語を正確に読み取ったりしながら、書かれているものの内容や、必要とする情報を取り出すことができる力を身につけさせる。

### 3. 質問紙調査の結果から良好なもの(◎)と課題となるもの(△)のうち、主なもの

- ◎「毎日同じくらいの時刻に寝ている」
- ◎「将来の夢や目標を持っている」
- ◎「人が困っているときは、進んで助ける」
- ◎「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」
- ◎「人の役に立つ人間になりたいと思う」
- ◎「学校に行くのは楽しいと思う」
- ◎「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」
- △「自分には良いところがある」
- △「読書は好き」
- △「授業で学んだことを、ほかの学習で生かしている」
- △「平日の勉強時間が1時間以上」

### 4. 全国学力・学習状況調査、質問紙調査の結果を踏まえた取り組みについて

#### <学校での取り組み>

##### 基礎基本の定着に向けて

- ・全員が分かる授業と学ぶ集団づくりに取り組む。
- ・授業の最初に本時の流れを確認する。
- ・視点を明確にした振り返りの時間を確保する。
- ・苦手とする問題に繰り返し取り組ませる。
- ・家庭学習の質の向上に向けた取り組みを行う。
- ・授業の内容を踏まえた適切な家庭学習に取り組ませる。

##### 活用力の向上に向けて

- ・授業で自分の考えを明確に伝えあう場や自分の考えを深めたり広げたりする場を設定する。
- ・単元ごとに活用力を問う問題に取り組ませる。
- ・定期テストに記述式問題や活用力問題を出題する。

##### その他の取り組み

- ・生徒の主体性を育むため、生徒会活動をより活性化させる。
- ・自己肯定感及び人間性を高めるため、道徳科や特別活動の充実を図る。
- ・小中連携の充実を図り、9年間を見通した学びのスタイルを確立する。
- ・生活リズムを整えるために、特に勉強開始時刻を意識した三点固定（起床時刻・勉強開始時刻・就寝時刻）の声かけを行う。
- ・読書活動やキャリア教育を充実する。
- ・朝学習や家庭学習から、自らの課題に対して主体的な学習を目指す。
- ・様々な事情を抱えた生徒に寄り添うため、教育相談を充実させる。

#### <ご家庭にお願いしたいこと>

- ・学校では、主体性をキーワードとして、「自ら考え行動する力」の育成を目指しています。家庭でも自己判断と自己決定を尊重し、傾聴を意識しながら接していただくようお願いいたします。
- ・SNS（インスタグラム・ティックトック・ライン等）による生活習慣の乱れや学習への影響が心配されます。使用時間やルールに関して、家庭で今一度ご確認をお願いいたします。
- ・家庭学習の質が向上するように、勉強開始時刻を特に意識した三点固定（起床時刻・勉強開始時刻・就寝時刻）の声かけをお願いします。
- ・自己肯定感や学習意欲の向上に向けて、お子様と学校での出来事や将来の夢について、また友人や勉強について、些細なことでも話し合える機会を大切にしてください。

本学力調査は学力の特定の一部を推し量るものです。学力（技）とは、豊かな人間性（心）、体力、健康（体）とともに、子どもたちが生きるために身につけるべき大切な力です。今後も心技体を偏りなく成長させていけるように学校教育活動全体を通じて取り組んでいきます。

家庭と学校が連携して、ともに健やかな子どもの成長を見守っていきましょう。